

社会福祉法人 同胞援護婦人連盟

令和 5 年度 事業計画

1 法人を取り巻く状況

法人の前身である財団法人援護婦人連盟は昭和 21 年 6 月、戦禍を蒙った人々を救済し世界の同士とともに平和世界を創建することに寄与する事を目的として、引揚者ホーム、孤児ホームを運営する団体として発足した。

その後、法人は昭和 27 年 4 月に社会福祉法人となり、児童福祉施設の運営に重点を置く法人として、現在に至っている。

児童虐待（令和 3 年度中の児童相談所虐待対応件数・20 万 7 千件超）、母親のDV被害（令和 3 年度警察のDV被害対応件数全国約 8 万 3 千件）は増加し続けており、子どもを取り巻く環境は更に厳しくなっている。児童の社会的養護、母子の生活支援等を役割とする児童福祉施設の役割は、依然としてその重要性は高い。

令和元年度に策定した法人の中期経営計画（2020 年度－2024 年度）は後半を迎えるが、次期計画を見据え、計画的な事業運営を通じて継続的・安定的に社会からより信頼される社会福祉法人としての役割を果たしていく。

新型コロナウイルス感染症については、国や地方自治体が示す最新情報を注視しながら、利用者及び職員の感染予防対策及び健康管理を徹底する。

2 法人経営の原則の遵守

法人は、令和 5 年度事業を執行するに際し、定款第 3 条に規定する法人の経営の原則を遵守する。

（定款 第 3 条）

（経営の原則） この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

3 法人の理念

私たちは、あらゆる人や物を慈しみ、おおらかに包み込む心と態度で、人との絆をはぐくみ、あたたかく明るく輝きに満ちた世界を創り出すための核になりたいと願っています。

4 令和5年度重点項目

(1) 労働条件の課題解決の方策の検討

令和4年度に引き続き「働き方改革検討会」を開催し労務環境の改善を検討する。

(2) 人材育成の充実

令和4年度から運用を開始した「個人別人材育成計画」を活用し、両施設職員の育成を図ると共に、概ね3年後をめどに人事評価の仕組み構築を目指す。

(3) 法人80周年記念に向けた準備

2026年（令和8）年に当法人は創立80周年を迎える。周年行事に向けて、80年間の法人の歴史を記録していく。令和5年度は、こどものうち上野寮や七栄寮時代の当時を知る人物からのインタビュー、また、戦後の日本の状況や戦争孤児の映像の資料探しのため、東京大空襲・戦災資料センター等で取材をおこなう。

5 評議員会・理事会等の開催

(1) 評議員会は定款等の重要事項を決定する。

（開催計画）

区分	開催予定日	予定議題
定例会	令和5年6月18日（日）	令和4年度事業報告、決算報告、監事監査報告
	未定	令和5年度事業実施状況報告、令和6年度事業計画説明

(2) 理事会は業務執行の決定及び理事の職務の執行の監督をおこなう。

（開催計画）

区分	開催予定日	予定議題
第1回	令和5年6月3日（土）	令和4年度事業報告、決算報告、監事監査報告
第2回	平成5年6月18日（日）	理事・監事の選任
第3回	令和5年10月29日（日）	監事監査(中間)報告、その他
第4回	令和6年2月24日（土）	令和6年度事業計画、収支予算
第5回	令和6年3月31日（日）	令和5年度予算補正

6 監事監査

必要に応じて監事の事務事業の執行について、5月、10月の監査を中心に必要に応じて随時監事監査を実施する。

(監査予定日)

決算監査	5月22日(月)
中間監査	10月18日(水)

7 事業運営

(1) 児童養護施設の運営

児童福祉法第41条に基づく施設として、養護を要する児童を養護し、退所した者に対して相談、自立のための援助を行う。

施設名	定員	職員	所在地	備考
こどものうち 八栄寮	52名	常勤職員 42名 非常勤職員 14名	八王子市館町2232-1	

(注1) こどものうち八栄寮には、次の地域小規模児童養護施設を含む

- 1 虹の家 八王子市めじろ台1-58-6 定員6名
- 2 宇宙の家 八王子市めじろ台1-58-7 定員6名

(2) 母子生活支援施設の運営

児童福祉法第38条による施設として配偶者のいない女性(これに準ずる者を含む)及びその女性の監護すべき児童を保護し、自立促進のために生活を支援すると共に退所した母子について相談などの支援を行う。

施設名	定員	職員	所在地	備考
リフレここのえ	20世帯 緊急一時保護2世帯	常勤職員 15名 非常勤職員 11名	非公開	

(3) 八王子市子ども家庭サービス事業(受託事業)の実施施設

事業名	実施施設	定員	利用時間	備考
ショートステイ事業	こどものうち 八栄寮	3名	24時間	
トワイライトステイ事業	リフレここのえ	3名	17:00~22:00	

(4) 地域子育て応援事業の実施

地域の公益的な取組として実施する。

事業名	実施場所	対象	利用時間	備考
無料塾 オリーブみらい	八王子保育専門学校ビル 1階	小学生 (4年生から) 中学生 高校生	火・金曜コース 水・土曜コース 小学生 16:30~ 中学生 18:30~ 高校生	注1 祝日休み
子育て世帯支援 子育て応援ひろば てんとうむし	同上	子育て世帯 自由に集う場 イベント	週1回 10:00~12:00 午前で企画	注2 祝日休み

注1 特に定員は設けない。

注2 週1~2回程度、子育て世帯が自由に集う場所として開設を予定している。その中で、随時利用者のニーズに応じた子育てイベントを実施する。

職員体制は八栄寮所属職員1名を専任とし週40時間非常勤職員を置く。また、両施設より職員の応援体制を組み実施する。

(5) 支援対象児童等見守り事業（受託事業）

八王子市幼保連携児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子どもまたは、市が見守りを必要と判断した子ども等について居宅を訪問するなどし、子どもの状況を把握し必要に応じ適切な支援につなげる。年間概ね延べ800回。

8 法人の主な施策

(1) 法人運営会議 12回

毎月開催し、法人運営、施設経営上の課題、事業間の調整などについて協議し、法人、施設が抱える課題の解決や事業のレベルアップを図る。

(2) 中期計画推進会議（仮称） 24回

令和元年度に策定した法人の中期計画の着実な推進を図るため、以下7つの部会を設置する。推進会議では、進行管理を行い法人運営会議において進捗状況を報告する。

- ①給与、人事制度検討会
- ②働き方改革検討会
- ③用地活用検討会
- ④事務改善検討会（事務職会議）

- ⑤八栄運営検討会
- ⑥リフレ運営検討会
- ⑦子育て応援事業検討会

(3) 危機管理等

①防災・安全対策

各施設において、消防法に基づき防火管理責任者を配置し、同施行令による消防計画を作成するとともに、避難訓練・消火訓練をおこない、利用者・児童の安全を確保する。各施設の事業継続計画（BCP）、災害備蓄品の適宜見直し、非常時参集名簿の整備等をおこない、非常時に備える。

また、法人内にリスクマネジメント委員会を設置し、施設に分会を設け、事故、感染症等、これらの発生要因の分析と未然防止、適切な対応等を検討し利用者の支援に活かす。法人のリスクマネジメント委員会は、必要に応じて法人運営会議にあわせて開催する。

②労働安全衛生

職員の定期健康診断（年2回）により職員の健康管理をおこなう。

また、メンタルヘルスチェックについては各施設において適正におこなう。

(4) 情報管理及び発信

個人情報をはじめとする情報管理については、個人情報管理規定、情報公開規程等に則り適切におこなう。

I T 関連の情報管理については、セキュリティポリシーを定め、適正に管理する体制を整える。

法人のホームページを改定し、法人情報、求人情報等を随時更新しリアルタイムの情報提供に努める。

機関紙『えん』を6月、12月に発行し、法人の運営にご理解を頂いている支援者のみなさまへ送付する。

(5) 職員の育成

人材育成のために、各施設の研修に加え、年1回程度法人主催の研修を行なう。